

進行させていただきました。卓話につきましても、早目に対応した結果、ご指名させていただいた方には一つ返事で引受けていただきました。反省の弁として外部卓話の件でありましたが、商業的な内容になったことにつきましては、皆様にお詫び申し上げ、この一年の感謝を申し上げ、年度のしめくりといたします。

#### 四つのテスト

— 言行はこれに照らしてから —

- |            |                  |
|------------|------------------|
| I 真実かどうか   | III 好意と友情を深めるか   |
| II みんなに公平か | IV みんなのためになるかどうか |

6月21日例会： 会長、年度を振り返って・会員卓話

6月28日例会： 会長幹事慰労会



## 三条北ロータリークラブ週報

行動に信念を—信念は行動に—

BELIEVE IN WHAT YOU DO —  
DO WHAT YOU BELIEVE IN —  
国際ロータリー会長 ロバート R. パース 第2560地区ガバナー 細渕久雄

例会日  
1994. 6 . 14  
累計 No 369  
当年 No 46

会長／羽賀一夫

幹事／長谷川博一

SAA／早川龍雄

例会日／火曜日 PM12:30～1:30

例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111

事務局／三条市西四日町3-15-34  
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160  
FAX ☎33-8972

行事： 卓話「羽賀年度を振り返って」

羽賀会長、長谷川幹事、早川SAA、吉川プログラム委員長

出席： 本日の出席 53名中37名

先週の出席率 53名中51名 96.23%（前年同期85.25%）

5月の出席状況 会員数53名 例会数4回 平均出席率91.03%  
（前年同月80.95%）

先週のメイクアップ： 6月8日 三条RCへ 中条耕二さん 坂本勝司さん

9日 見附RCへ 淵谷 茂さん

10日 吉田RCへ 大野新吉さん 高橋彰雄さん

13日 三条南RCへ 佐藤義英さん 中条耕二さん

ビジター： 三条RCより 熊倉昌平さん 三堀正純さん

会長挨拶： 羽賀一夫

1年間を振り返って見てという題を頂いて苦悩しております。私は北ロータリーに対して、何の役にもたっていなかったような気がするからです。これは幹事の長谷川さん、SAAの早川さん、それに事務局の五十嵐さんがほとんどの段取りを取って下さり、私は指令どうり動いていただけです。一人では何も出来ない会長のまま終わってしまったからかもしれません。

それでは私自信にはどういう影響があったか考えて見ました。これが大変勉強になり又活用したことが随分ありました。

その中の一つは、このロータリーの友を読むようになり、そこから得るものが多くなったことです。この雑誌は毎月配布されますし、北クラブ設立当初から数えたら、100冊くらいになるはずですが、それまでの私はほとんどこの雑誌を開いたこともなく、ましては読んだ記憶は有りません。ところが会長を引き受けるに当たって、何も分からずに船出してしまっただけと思い、目の前に有ったロータリーの友を開いてみたのです。そしたらこれがなかなか面白いのです。私たちの回りに

は、たくさんの雑誌が氾濫していますが、それは政治経済社会情勢や金儲け、あるいは趣味の本だったりするわけですが、このロータリーの友はそのどれとも違って、まずロータリアンによって作られ、それぞれの専門家がとっておきの話を投稿してきております。ですから普段得る事が出来ないような話がたくさん載っています。さてそこで私が感銘した一つをご紹介しますと思います。今年の5月号に載っていた、命の電話という内容です。御覧になられたかたはお許し下さい。元大阪淀川ロータリークラブの会員で、命の電話顧問をされている人からの投稿です。

まず前書きを読んで見ます。

一人の少女の無知からくる自殺が契機で有った。生きる希望をすべて失い、死にたいという訴えを、電話を通して全人格的に受け止め、受入れるとき、その人は平静な心理状態に戻り、生きる希望を見いだしてくれる、これが命の電話、の神髄である。

次に本文を要約しますと。

今から40年前、ロンドンの一人の少女が、だれでも経験する初潮を、無知のために何か悪い病気にかかったのではないかと思い、だれにも相談出来ず悶々として悩み、ついには死をえらんだという事が起きたそうです。それを知ったカウンセラーをしていた一人の牧師が、何とかして人間の羞恥心をカバーしながら相談する方法がないものかと考えた末、思い付いたのが電話相談だったんですね。そこで何で電話だったのかというと、面接相談ですと、あらかじめ約束を取り衣服を整え、乗り物に乗っていかなくてはなりません。又深く悩むのは夜が多いので時間的な事も有ります。それが電話ですと、24時間相談員が待機していますので、匿名でパジャマ姿で何時でも相談出来る訳です。そして相談員はボランティアとして当たっています。私はこのボランティアという部分に感銘し、ロータリークラブと通ずるものをみる事ができました。まず仕事として当たる場合は、報酬を期待する訳ですし、勤務時間の意識があるわけです。それがボランティアという自発的な報酬を期待しない奉仕の心は、人々に時間的な制約を感じさせず、無限の働きをさせるという事です。そして専門家でなく、アマチュアであることは、相談者の心の友として親身になって聴けるのではないのでしょうか。専門家の場合は、教える態度が無意識に出るそうですが、アマチュアの場合は対等の立場で心を込めて聴くという謙虚さがあるわけです。

さてこの本文はまだ続きますが、私は1年間会長をし、ロータリーの友を開き、この文をよんでロータリーと奉仕というものが少し分かったような気がします。そして会社の経営にも人との付き合いにも、少しずつ生きているような気がします。

**幹 事 報 告：** 長谷川（博）幹事

◇ 1994～95年度新潟県内ロータリークラブ会長幹事会のご案内

日 時 平成6年7月17日（日）

会 場 小千谷「サンプラザ」、「信濃川テクノアカデミー」

②出席率もいくらか上がったと思います。

#### 反省点

①誕生日祝、結婚記念に感謝してボックスに1000円ずつ入れていただきましたが、何もしないというのは、何かものたりない感じがいたしました。金額は別として、何かプレゼントを工夫してやったほうがよいと思われました。

②会計のことですが2つの集まりについて、つまり、分水R C 20周年記念、田上あじさいR C 認証状伝達式に参加していただいた方に半額を自己負担していただきました。ご協力を心より感謝いたします。又、できれば、このようなことがないような会の運営ができればと反省いたしました。

③ニコニコボックスについて

石川委員長に大変活躍していただき本当にごくろうさまでした。年度後半に入って、いくらか予算の面できついということで皆様から格別な協力をいただきました。本来ならば、ニコニコボックスは協力をお願いするというのはおかしいわけですが、皆さんからの理解がありましたので、満たされる見通しとなりました。後半に入って協力をお願いしなければならなかったという点を反省しております。次年度は佐藤文夫委員長ですが、ニコニコボックスの主旨について無理なくやっていただければ良いと思います。

そんなことで、羽賀さんから幹事をたのまれた時は、私にできるのだろうか、それもあまり景気のよくない時だのにと思いましたが、ここまで来ますと、幹事といっても思ったよりもスムーズにやれたと思っております。それも今、話をさせていただいたように多くの方々のご協力があったからと思っております。又、いたらないところをカバーし、フォローして下さった方がおいででしたのでここまでこれたのだと本当に感謝しております。今回は仕事で出張になりますので、例会に出席できませんので、幹事として例会に出席できるのはあと残すところ1回となりました。どうもありがとうございました。

**早川瀧雄 S A A**

S A Aをさせてもらって貴重な経験をしました。細淵ガバナー公式訪問、三クラブ合同例会での司会、進行は緊張の連続でした。毎週の例会での楽しい雰囲気の中での会長挨拶、幹手報告、その他委員会報告、B O Xの発表等。又例会がマンネリにならないように会長挨拶を食事の前にした事もありました。反省点と致しましては、外部卓話が限られた時間より長すぎたり、短かすぎたり会員の皆様には御迷惑をおかけしましたが友情あふれる皆様の協力を頂き有意義な1年間でありました。本当にありがとうございました。次年度S A Aの馬場さん宜しく願い致します。

**吉川吉彦プログラム委員長**

本年度プログラムを組むに当りまして会長はじめ幹事、S A Aの最高の御協力をいただき、また、会員の皆様のご理解を得ましてこの一年をとどこおりなく終了させていただきました。有難く感謝申し上げます。プログラムを組むに当りまして、関係の皆さんより指導いただき、スムーズに